

【専門医派遣1】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎西高等学校

実施日 令和4年10月12日(水)

場 所 長崎西高等学校 第1体育館

講 師 宮村泰豪 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話) ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (1) 学年 (268) 人	学校職員 (13) 人	保護者 () 人	その他 () 人 ----- () 人
-----	-----------------------------	------------------	--------------	--------------------------------

テーマ【 自分を大切に。相手を大切に。 】

内容:性に関する正しい情報と知識を習得し、自分自身や相手を大切にできるようになる。

- ・女性と男性の内性器
- ・中絶の実態
- ・LGBT
- ・子宮頸がんワクチン
- ・予期せぬ妊娠を予防する
- ・性感染症は身近な問題
- ・妊娠及び出産

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・生理痛がある場合は、鎮痛剤を服用してよい。服用する場合は、痛くなる前に飲むとよい。
- ・排卵日は特定できない。性交すると妊娠する可能性があるため、必ず予防をすること。
- ・中絶は、特に女性の心と体に影響を及ぼす。
- ・緊急避妊薬があるが、産婦人科を受診する必要がある。また、ピルでは性感染症を予防できない。
- ・子宮頸がんはウイルスによっておこるため、ワクチン接種をすることは有効である。

【専門医派遣2】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎県立鶴南特別支援学校

実施日 令和4年8月25日(木)

場所 本校D棟 多目的室、学習室④⑤

講師 今村 健仁 氏 (産婦人科医)

形態 ・講話 **職員研修** ・その他()

参加者	生徒	学校職員	保護者	その他
	() 学年 () 人	(42)人	()人	(なし) ()人

テーマ【 思春期の性について 】

テーマと内容

- ・県南部の症例について
- ・緊急時の窓口(10代の妊娠と人工妊娠中絶)
- ・緊急避妊を含むピルと性感染症について
- ・生理痛とホルモン治療
- ・HPV ワクチンについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・県内の若年層の課題について、避妊について知らない、男性任せにしているケースが多い印象。排卵周期や避妊、妊娠人口中絶に対する知識が乏しい。
- ・実際に産婦人科が関わることができるのは「何かが起こった後」のケースが多く、望まない妊娠と病気を防ぐ方法は知識として共有すべき、親(あるいは親権者)への啓蒙、教育は大切。
- ・生理痛による体調不良を頻繁に訴える生徒については、低用量ピルなどを使用し、生理の量を減らし痛みを軽減させることもできる。
- ・HPV によって引き起こされる子宮頸がんは大部分が予防できる病気であり、今年度から個別の勧奨を行うこととなった。これを機会にワクチン接種を行ってほしい。等

【専門医派遣3】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎市立淵中学校

実施日 令和4年9月8日(木)

場 所 長崎市立淵中学校 各教室(リモート)

講 師 淵 直樹 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (1・2) 学年	学校職員	保護者	その他
	(260) 人	()人	()人	()人

テーマ【 性教育講演会～性(生きる) 】

テーマと
内 容

内容(具体的に)

- ・産婦人科医の仕事
- ・妊娠と出産(出産場面の動画)
- ・二次性徴(男女差)、性感染症、LGBTQ

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

お腹の中の赤ちゃんが実際に動く時の映像を見たり、力強い心音を聴かせていただいたりしたことは、生徒たちにとって大変貴重な経験となった。命の尊さを感じられた生徒の感想が多く、特に出産場面は、男女問わず一緒になって出産を応援する姿が見られた。

思春期の男女それぞれに起こる体の変化を知り、「自分のことも相手のことも大切にしてほしいこと。」また、「妊娠する可能性があることを忘れないでほしい。」という専門医の言葉に、真剣に受け止め考える様子が見え、今後の責任ある行動へと繋がる思いを持つことができたように思われる。

講話後は自分が生まれたときの話を聴き、保護者への感謝や、周囲のサポートへの気付きもあった。

また、LGBTQについての関心と理解が深まり、自分のことも、相手のことも大切にしたいという気持ちが強くなったように感じられる。

【専門医派遣4】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎市立長崎中学校

実施日	令和4年9月29日(木)			
場 所	長崎市立長崎中学校 体育館			
講 師	渕レディースクリニック 渕 直樹 氏 (産婦人科医)			
形 態	・講話 ・職員研修 ・その他()			
参加者	生徒 (3) 学年	学校職員	保護者	その他 ()
	(57) 人	(3) 人	() 人	() 人
テーマと 内 容	<p>テーマ【 性に関する講演会 】</p> <p>内容(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産婦人科とは ○赤ちゃんが誕生するまで <ul style="list-style-type: none"> ・出産の映像を見て、自分たちがどのように生まれてきたのか考える。 ○妊娠について <ul style="list-style-type: none"> ・月経がある人と精通を迎えた人が性行為をすると、赤ちゃんの欲しい有無にかかわらず、妊娠できる、また、妊娠させる力が自分たちにはある。 ○二次性徴について <ul style="list-style-type: none"> ・自分の体にどんな変化が起きているのか知る。 ・全国の中学生の悩みを知り、悩むことは当たり前であること。 ○性感染症について <ul style="list-style-type: none"> ・性感染症の予防には、コンドームを使用するか、性行為をしないこと。 ・女性は内性器であるため発見が遅くなってしまうこと。 ・薬で治るので、産婦人科や泌尿器科をすぐに受診すること。 ○LGBTQ について <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなパターンの性があってもよい。 ・お互いの性を尊重することが大事。 			

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

【指導助言】

- ・出産映像を通して、自分たちがどのように生まれてきたのか考えてほしい。
- ・思春期では、自分の体にどのような変化が起きているのかを理解し、自分だけではなく他人の体も気遣うように。
- ・もし、性感染症が疑われる場合は、早めに受診や相談することが大切である。
- ・心と体の性は多様である。他人の性も尊重してほしい。

【成果や生徒の行動変容】

- ・事前に生徒に実施したアンケートでは、月経や射精の仕組み、避妊の方法は5割から6割の生徒が「知っている」「まあまあ知っている」と答えていた。妊娠の仕組みにおいては8割の生徒が「知っている」「まあまあ知っている」と答えていた。また、本校の生徒は性に関する情報を友人やネット・SNS から得ている生徒が多かったが、感想文を見ると、性に関する知識について初めて知ったと書いている生徒や自分が知っていた知識とは違ったという生徒も中にはおり今回の講話を通して正しい性の知識を学ぶことができた。
- ・また、自分が生まれた時のことを知っている生徒が少なく、出産映像を見て、家族に愛され、医療従事者の方々の祝福の中で自分が誕生したことを実感し、講演後、家族に自分が誕生したときのことを聞きたいと感じた生徒や家族への感謝を述べる生徒もおり、自他の生命の尊さや大切さを実感できた。

【専門医派遣5】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎市立橋中学校

実施日 令和4年6月30日(木)

場 所 長崎市立橋中学校

講 師 池田 裕一郎 氏 (産婦人科医)

形 態 (講話)・職員研修・その他()

参加者	生徒 (全) 学年	学校職員	保護者	その他 ()
	(472) 人	(40) 人	(3) 人	() 人

テーマ【 命と性に関する学習会 】

テーマと内容

内容(具体的に)
・男女の性の違い、性交の意味、妊娠出産、中絶、性感染症、子宮頸がんについて、避妊、命をつなぐこと、命の意味、親になるための準備と覚悟

<当日の様子>



1・2年生はリモート視聴、3年生は体育館の予定だったが、熱中症予防のため急遽パソコン室からの配信となった。

<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

妊娠とは命をつなぐもの、家族は尊いものである。人が出会うということはその一人一人の命と巡り合う奇跡的なことである。感謝の気持ちをもって生きていくことが大事であるとまとめていただいた。また、発達段階の違いにより理解できない生徒がいたかもしれないが、まずはどこかで聞いたことがあるという程度でも十分なので、いろいろな場面で話をしてほしいと助言をいただいた。

【専門医派遣6】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎市立丸尾中学校

実施日 令和4年10月27日(木)

場 所 丸尾中学校 3年1組 教室

講 師 牟田 邦夫 氏 (産婦人科医)

形 態 ○講話・職員研修・その他()

参加者	生徒	学校職員	保護者	その他
	(3) 学年 (24) 人	(3) 人	() 人	() 人

テーマ【 思春期のころとからだ ～自分を大切に 相手を大切に～ 】

テーマと内容

内容(具体的に)

- 2次性徴(身体の変化 男・女)
月経の仕組み、女性ホルモン、基礎体温、月経の悩み
射精の仕組み、男性ホルモン、ペニスの悩み、包茎のケア
- 性交、人工妊娠中絶、妊娠、避妊
- デートDV
- 性感染症、多様な性(LGBTQ)

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

- ・月経の悩みや性器(悩みやケア)についての話があり、受診のタイミングや受診する診療科の紹介もあり、自分の体に不安がある生徒が受診に対する理解を深められた。
- ・妊娠、避妊、人工妊娠中絶など経過や方法、時期など教えていただいたため、自分の行動に責任を持つ大切さが理解できた。
- ・デートDVIについては、言葉を知らない生徒もいたため、言葉の理解や内容の理解ができた。
- ・LGBTについては、関心のある生徒も多く、さらに理解を深めたいとの感想があった。
- ・時間がなく詳しく説明ができなかったが、子宮頸がんワクチンについて、詳しく聞きたかったとの感想があり、また、質問もあがっていた。子宮頸がんワクチンについて考える機会となった。

【専門医派遣7】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎市立三和中学校

実施日 令和4年12月22日(木)

場 所 三和中学校 音楽室

講 師 いまむらウイミズクリニック 今村 健仁 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (2) 学年 (58) 人	学校職員 (6) 人	保護者 () 人	その他 () 人 () 人
-----	----------------------------	-----------------	--------------	--------------------------------

テーマ【 生と性について 】

内容(具体的に)

- 性についての正しい知識を理解させる。
- 思春期の心身の成長を自覚し、真剣に受け止め、自分のことや周りの人のことを大切にする気持ちを培う。
- ・思春期の体の成長、二次性徴、思春期における性についての悩み、気をつけたいこと
- ・性についての正しい知識を身につけることの大切さ
- ・性感染症とその予防
- ・LGBT への理解
- ・子宮頸がんの実態、ワクチン接種と検診の大切さ
- ・望まない妊娠
- ・困ったときの対処について(相談できる人をつくる、産婦人科への受診)等

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

男女の性に関わる成長や機能などについて具体的な説明があったので、今まで知らなかったことを学習したり、自分がこれまで持っていた情報の誤りに気づいたりした生徒もいた。

また、実際に講師の方が関わった事例を紹介していただき、今、とるべき行動について、子どもを産み育てることの責任の重要性を感じ取った生徒が多かった。

性感染症、子宮頸がんなどの病気やその予防法についても専門医の具体的な説明を受け受診の大切さも知ることができたようだった。

【専門医派遣8】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 長崎市立日吉中学校

実施日 令和5年2月16日(木)

場 所 長崎市立日吉中学校 音楽室

講 師 今村 健仁 氏 (産婦人科医)

形 態 講話

参加者	生徒 (全)学年 (12)人	学校職員 (8)人	保護者 ()人	その他 ()人

テーマ【10代の性と生】

内容(具体的に)

- ・10代は体が先に大人になる、アンバランスな世代。
- ・LGBTについて
- ・妊娠と出産
- ・何か起こった時の緊急避難先
- ・性感染症について
- ・HPVワクチンについて

<当日の様子>



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

今回の講話は、生徒と同じ中学生から高校生の性に関する実態に基づいたお話があり、「身近にそんなことがあるのだ」という驚きをもって、お話を聞いていたのが印象的であった。また男女一緒にお話を聞くことで、相手を思いやる心がより深くなったように感じた。盛りだくさんの内容だったが、それぞれが自分自身のこととして、考えることができる良い機会だったと思う。

中学生でも1年生と3年生では、知識理解については、差があることがわかった。

【専門医派遣9】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 県立諫早特別支援学校

実施日 令和4年12月6日(火)

場 所 諫早特別支援学校 多目的室

講 師 宮下 昌子 氏 (産婦人科医)

形 態 ・講話 ・職員研修 ・その他()

参加者	生徒 (高等部1・2・3)学年 (18)人	学校職員 (6)人	保護者 ()人	その他 ()人

テーマ【 思春期の性について 】

内容(具体的に)

- ・性って何？
- ・妊娠とはあたりまえじゃない。奇跡である。
- ・高校生の性の悩みについて(男女別に)
- ・人を好きになることは普通のことである。
- ・人工妊娠中絶について。
- ・子宮頸がんワクチンについて。

<当日の様子>



パワーポイントを使いながら、動画なども交えて講話をしてくださった。生徒たちは、真剣に、よくメモをとりながら先生の話聞く様子が見られた。



<講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等>

「生徒から事前にもらった質問内容を見ると、性に関する学校での授業内容をよく理解している生徒が多いように感じる」とおっしゃっていただいた。専門医の先生が実体験を踏まえて話をしてくださったので、生徒たちも身近なこととして捉えることができていた。また、医学的な立場から生徒の性に関する悩みや質問に答えてくださったので、生徒たちは納得した表情をしていた。さらに、先生の講話を受けて、生徒たちから、「自分が産まれたことは奇跡なんだと改めて感じた。」「親に感謝したい。」などの感想が多く聞かれ、命の大切さを実感している様子だった。

【専門医派遣10】

令和4年度長崎県学校保健専門医派遣事業 報告書

学校名 諫早市立喜々津中学校

実施日	令和4年9月22日(木)			
場 所	諫早市立喜々津中学校 大多目的室			
講 師	たらみエンゼルレディースクリニック医院長 陣林 伯豪 氏 (産婦人科医)			
形 態	・講話 ・職員研修 ・その他()			
参加者	生徒 (2) 学年 (94) 人	学校職員 (5) 人	保護者 () 人	その他 () 人
				() 人
テーマと 内 容	<p>テーマ【 思春期の体と心 】</p> <p>内容(具体的に)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の体と心の発達について(初経・月経のしくみ、精通・射精のしくみ) ・思春期の体と心に関する悩みへの対処や正しい行動の選択について(相談や受診、正しい性情報の選択、ネット上のトラブル) ・10代の妊娠と人工妊娠中絶について(中絶が女の子に与える影響、望まない妊娠を避ける方法) ・性感染症について(毛じらみ、性器ヘルペス、尖圭コンジローム、クラミジア) ・LGBTQについて(LGBTQという言葉、困っていること、自分たちができること) ・子宮頸がん予防のために(ワクチン接種について、検診について) 			
<p><当日の様子></p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>				
<p><講師からの指導や助言・成果や生徒の行動変容等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・思春期の心や体の変化には個人差がある。不安や悩みがある場合は、まず養護教諭や親に相談し、必要な場合は医療機関を受診してほしい。 ・子どもをつくる働きが成熟し、子どもをつくることのできる体になったとしても、性を興味本位でとらえず、望まない妊娠を引き起こすことがないよう、正しい行動をとってほしい。 ・人間の性は多様で複雑なものであり、誰もが尊重され、自分らしく生きることのできる社会が望まれている。 ・子宮頸がんは、ワクチンを接種することでリスクを減らすことができる。 <p><成果>・思春期がどのような時期なのか、これからどのような行動をとるべきかしっかりと考えていくことが大切であることに気づくことができた。</p>				